

## 2021年度 第1回 安全・技術委員会 議事録

### 日時、場所

2021年9月29日(水) 17:00~18:15 リモート開催

### 出席者 (敬称略)

担当副会長 : 西村 哲也 (株ニシムラ)  
委員長 : 朝田 武志 (朝田金属工業株)  
副委員長 : 上田 整弘 (上田産業株)  
委員 : 鈴木 猛 (株アマダプレスシステム)、朝田 善雅 (朝田金属工業株)  
坂本 好伸、田中 康治 (株ハヤシ)、加藤 大典 (大阪美錠工業株)  
和田 晃 (上田産業株)、米原 史雄 (株カサタニ)、二原 浩憲 (プレテック株)  
特別参加 : 山口 雅司、池野 吉彦 (ムラテック販売株)  
事務局 : 中西 順也 (文責)

### 議事内容

#### 1. 朝田武志委員長からご挨拶

計画しております金属プレス加工研修塾(仮称)は時期を見て再開の予定です。また、多田会長の事業方針が示され、今年は当委員会でDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組むことになりました。DXについてはわからないことが多いので勉強しながら進めましょう。

#### 2. ムラテック販売株様(賛助会員)に今回特別にご参加頂き、DXについてのレクチャーをお話し頂きました。

- DXの背景(2025年問題、高齢化社会、労働人口減少、インフラ入れ替えの時期)
- 生産現場でのデジタル化の事例を、ムラテック販売株様の商品を例にご説明頂きました。(説明を終えての意見)

- DXとはどういうものかという基礎の説明を期待していたが、商品説明の印象が強く、この製品が合う会社は少ないのではないか。
- どの会社も生産管理システム的なものはすでに導入されているはず、むしろ事務的な部分のデジタル化についての話を聞きたかった。

#### 3. 皆さんの会社でのDXへ取り組み状況はいかがでしょう

- 朝田金属工業株 大塚商会のシステムを入れている。DX導入についてもレクチャーを受けているが、手法としては中小企業診断士に仕事の整理を依頼してから可能な部分をデジタル化するというやり方で話を進めている。
- 株ニシムラ 弊社も大塚商会の生産管理のシステムを入れている。生産管理以外の部分の導入がわからない。作業手順書や検査書のデジタル化などはしたいと考えている。
- 上田産業株 弊社も大塚商会のシステムを入れている。生産管理と経理は繋がるが、検査をどのようにデジタル化するかに困っている。他社の導入具体例を見たい。
- 株カサタニ 弊社もシステム化には力を入れている。デジタル化も範囲が広い。DXを進める上で、プレス工業会の会員のニーズを把握する必要があるのではないだろうか。なるべくテーマを絞って順にいくつか提案するのが良いのでは。
- 株ハヤシ アナログをデジタルにデジタイゼーションという言葉があるようですが、DX以前のこと、今ある技術を生かしてまずはデジタル化するのか、進め方がわからない。弊社も大塚商会の販売管理システムを入れている。

- プレテック㈱ 弊社も大塚商会の生産管理システムを使っている。使用している中でひと工程でも抜けると機能しないので管理が大事、逆に人手が必要とも感じている。事務的な部分ではシャチハタクラウドで稟議書を回している。検査はキーエンスの画像システムに興味があり、検査証まで出せるようです。「検査・測定」はどの会社でも必要な業務のはず、この分野で提案するのはどうでしょうか。
- 大阪美錠工業㈱ 弊社では特に DX の取組はしていない。DX を調べて興味があったのは、顔認証による出退勤システムの事例や保全作業のリモート化などです。各会社の事例を沢山集めて会員へ紹介して、その中から選んで導入頂くのが良いのではないのでしょうか。各会社によって事情が違うでしょうし。
- ㈱アマダプレスシステム プレス機に金型のデータ登録出来るのでボタン押すとダイライト調整など出来ます。送り装置も自動で連動しますので最近の機器は便利になっています。  
カメラ画像で良品を判定するシステムを導入された顧客の話では、まだまだ人間の方が優秀なので、システムを“育てる”という感覚だそうで、まだまだ時間がかかると聞きました。

#### 4. 今後の進め方について

次回の委員会までに、それぞれの会社でどんな取り組みを考えているのか調べて頂いて、会員へ展開できる事例を紹介して頂きたいと思います。

また、ちょうど日本金属プレス工業協会でプレス業界のデジタル化の現状についてのアンケートを実施しています。この結果は今後の参考になるのではないのでしょうか。

次回の委員会は、11月の月上旬に予定します。次はリモートではなく実際に集まりたいと考えています。日程は後日、調整さんにて決定することとします。

以 上